

初心者のための

総会参加の手引

1. はじめに

連載でお送りしています「IAU 総会来る！」。今回は参加申込の仕方についてです。

これまでの連載で IAU の歴史や参加意義がわかってきたことと思います。日本は IAU 発足当時のメンバーでありながら、これまで1度も総会を開催したことがありませんでした。ですから来年の京都総会は 1964 年の東京五輪や 1970 年の大阪万博に匹敵する(?)世界的な大会ともいえます。天文学研究者ならば、この機会を逃さず積極的に参加しましょう。

2. 参加資格の取得法

けれども、京都総会に出席するためには、本誌 9 月号でお知らせしたように参加資格制限があり、誰でも当日フラッと出向いて参加するというわけにはいきません。IAU 会員であるか、日本学術会議の天文学研究連絡委員会或いはシンポジウムの SOC に申請して得られる IAU からの招待状が必要なのです。公式には本誌 9 月号 409 ページの手順に従って申請すればいいのですが、単に申請書を送るだけでは不安というあなたに、現実的な参加方法をお伝えしましょう。

2.1 IAU 会員になろう！

あなたが博士の学位を持っており、学位取得後 2～3 年以上にわたって天文学の研究を続けている(就職していなくても構いません)ならば、この際、IAU 会員になろう。京都総会で承認されると、天文学研究の国際的な情報(研究会案内など)が掲載された英文の情報誌(Information Bulletin)が送られてくるようになるし、IAU 関係の研究会の集録などが割引価格で購入できるようになります。会員になるための申請方法は本誌 9 月号 409 ペー

ジ参照。ただし、今総会ではまだ会員ではないので招待状は必要。新会員申請と共に、「IAU 新会員申請中」として招待状も申請しよう。

2.2 シンポジウム・JD に「出演」!

あなたが残念ながら上記の条件を満たさない、即ち、未だ大学院在学中とか博士取得直後であった場合、自分で既に研究を行っているならば、それに関連したシンポジウムやジョイントディスカッション(JD)、特別セッション(SPS)での発表を考えてみてはどうでしょう。JD や SPS には一般からの講演を受け付けないところもあるかも知れないけれど、講演希望を送ってみるのがよいでしょう。シンポジウムや JD、SPS の一覧表と代表者は本誌 9 月号 410～411 ページに掲載されています。一般からの講演を募集しているならば(シンポジウムの場合は必ず受け付けている)、講演申込の書類に「私は IAU メンバーではないので、招待状を出して欲しい」と書いた手紙を同封しておけばよいだろう。日本天文学会の場合と同じく、大抵の講演は受け付けられるから、招待状が得られることはほぼ確実。研究室の先生・先輩に相談してみよう。但し、発表は英語なのでそのつもりで。自分の研究を世界の一流の天文学者にアピールできるぞ。本誌 8 月号でも触れられていたが、国内でこれだけの御利益がある機会は滅多にない。

2.3 IAU 総会のお手伝いで参加!

あなたが発表すべき研究をまだしていない場合、総会のお手伝いをすることで話の一端は聞けるかも知れない。京都総会は 1500 人の出席者が予想されているが、参加者の大半は外国人。日本では右も左もわからない人も結構居るはず。その人たちのお世話をしたり、滞在中のトラブルの相談にのってあげたり、研究者ではない同伴者の観光案内をしたり、総会運営の手伝いをする人は相当数にのぼるはず。研究で情報発信できないけれど、こういうことならお手伝いできるという人は京都総会の

現地組織委員会 (Local Organization Committee; LOC) に連絡してみよう。必要なのは、多少の英会話と世間の一般常識。世界の一流天文学者と言葉を交わすチャンス大だ。

3. 申込書類の入手法は？

IAU 会員になってしまえば、送られてくる Information Bulletin に参加申込用紙が添付されてくる。非会員の場合は、上記の方法で参加資格を得た上で、近くの知り合いの IAU 会員から参加申込用紙を複写させてもらおう。申込用紙は体裁が同じなら複写した用紙でも構わない。

身近で入手できない場合は WWW で入手しよう。日本天文学会のホームページ

<http://www.tenmon.or.jp>

から IAU 京都総会のページをたどると参加申込書が入手できる。

電子メールしか使えない人は、

iau97-info@tenmon.or.jp

へ subject に help として電子メールを送ると (内容不問)、その後の対応の仕方を書いた電子メールが返送される。あとは、そこの指示に従おう。

そのいずれもダメな人は IAU 京都総会 LOC に申込用紙を請求しよう。

〒181 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台

IAU 京都総会 LOC 事務局

まで、自分の住所氏名を書いた定型の返信用封筒に切手 80 円を貼付したものを同封の上、請求しよう。

4. 申込先は？

4.1 参加申込書送付先

申込は郵送とインターネットと 2 通り。郵送の場合は、上記の方法で入手した専用申込用紙に必要事項を全て記入し、

〒181 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台

IAU 京都総会 LOC 事務局

まで送ろう。書きもれがないか十分にチェック！

先の天文学会ホームページを用いると WWW から電子的に申込ができる。電子メールのみ利用の場合は、先のアドレスにメールを送って、その指示に従おう。

なお、総会本体への参加以外に LOC 主催のツアーやパーティーの申込も付いているので同時に申し込もう。

4.2 参加費払込

参加申込の際には参加費を払っておく必要がある。早期申込割引 (早割) と直前申込料金とがある。1997 年 5 月 1 日以前の申込だと早割、5 月 2 日以降だと直前料金だ。IAU 会員か招待状による参加者かの区別はない。早割 3 万円、直前 3 万 5 千円。科学的な会合には参加しないがツアーやパーティーなどのイベントだけ参加するという出席者の同伴者向けは、早割 1 万円、直前 1 万 5 千円。ただし、同伴者は参加者 1 名につき 1 名までで、参加者の申込と同時に申し込まなければならない (11 歳以下の子供の同伴者は無料)。

支払いは銀行振替またはクレジットカードで可能。詳しくは申込用紙に記載されている。

4.3 宿屋の手配

参加申込書には総会期間中の宿泊や JTB 主催ツアーの申込用紙も付いている。こちらは JTB が受付なので注意しよう。宿泊は、個人的に別口で手配しても、もちろん構わない。ただし、事前申込が必要なツアーにはなるべく早めに参加申込をしよう。

さて諸君、用意はいいかな？

IAU 京都総会 LOC

半田利弘